



-Basic

電動アシスト自転車

取扱説明書

TM-FDB200E

■目次	01
■はじめに	02
■警告表示について	03
■安全上のご注意	04－07
バッテリー / 充電アダプタ / コード・プラグについて	04－06
アシスト自転車について	07
■各部の名称	08－10
バッテリー部	09
同梱／付属品	10
■バッテリー	11
取り外し方法・取り付け方法	11
■充電について	12
■電源の入れ方 / 切り方	13
■保管と手入れ	14
■点検・整備項目	15
■製品仕様	15
■故障かな？と思ったら	16

はじめに

この電動アシスト自転車取扱説明書では、TRANS MOBILLY E-BASIC（トランスモバイリー イーベーシック）用電動アシストユニットの取扱い方法を説明しています。

この取扱説明書をよく読み、内容を理解したうえで正しくご使用ください。自転車のご利用にあたっては同梱の取扱説明書（保証書）を必ずお読みください。

電動アシスト自転車取扱説明書 / 取扱説明書（保証書）はお読みになった後も大切に保管してください。

- 製品の仕様変更などにより、本書に記載のイラストや内容が実際の製品と多少異なる場合があります。
- この取扱説明書の記載内容については、予告なしに変更することがあります。
- 本製品を贈呈や貸与する場合は、本書及び購入時に添付されていた書類一式を必ず製品に添付してください。

警告表示について

●安全にご使用いただくために

*ご使用になる方や他の方への危害、財産への損害と自転車の損害を未然に防止するために本書に記載されている内容をよく理解していただき、警告・注意・禁止事項を必ずお守りください。

*特に折りたたみ自転車については一般自転車とは操作が異なり、ご使用に際し注意が必要です。

*不注意や誤った操作などは事故につながる恐れがあります。本書・別紙注意書・本体ラベルに記載されている内容をよく理解していただき、各記載事項をお守りください。

●表示マークについて

*お使いになる方や他の方への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

表示の内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

 **警告** この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

 **注意** この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の表示で区分し、説明しています。

 **強制** この表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告強制

- 異常を発見したら販売店にご相談ください。
 - 変形、ひび割れなど異常のある部品は必ず交換してください。
 - 曲がりを直しての再使用は破損の原因になりますので絶対にしないでください。
- ※前フォークは衝突時、曲がることでショックを吸収しケガを防止する役割があります。

**【安全上のご注意：自転車】については
同梱の『取扱説明書(一般自転車・幼児用自転車)』を
必ずお読みください。**

バッテリー / 充電アダプタ / コード・プラグについて



電源プラグや充電プラグを濡れた手で抜き差ししない

感電するおそれがあります。

電源プラグや充電プラグは根元まで完全に差し込む

感電や火災のおそれがあります。

火の中に入れたり、加熱したりしない

火災や破裂によりケガをするおそれがあります。

窓を閉めきった車中や直射日光のあたるところ、高温になるところにバッテリーを放置しない

火災や破裂によりケガをするおそれがあります。

屋外の雨に濡れるところや浴室・洗面台など水のかかる場所で充電したり保管・放置しない

感電や火災のおそれがあります。

バッテリーのケース・充電アダプタ・コード・プラグが傷んだものは使用しない

感電や火災のおそれがあります。

幼児の手の届くところに置かない

感電やケガのおそれがあります。

分解や改造はしない

感電や火災のおそれがあります。

端子間に金属などを接触させない

また針金などの金属の上に置いたり、一緒に保管・放置しない

感電や火災のおそれがあります。

バッテリーを長期間、放置しない

長期間の保管はバッテリーの劣化の原因となります。
目安として3ヶ月に1回は充電してください。

バッテリー / 充電アダプタ / コード・プラグについて（つづき）

注 意

バッテリー・充電アダプタ・コードは専用のため、他の機種やその他の用途には使用しないこと
火災や破裂によりケガをするおそれがあります。

**バッテリーを充電する場合は、専用の充電アダプタを使用し
指定の充電条件を守ること**

他の充電機器を使用すると、火災やバッテリーの破裂により怪我をするおそれがあります。

**電源はAC100～240V(50/60Hz)を使用すること
また、コンセントやコードは定格内で使用すること**

定格外のものを使用すると火災のおそれがあります。

**充電中はバッテリーやアダプタの放熱を妨げないこと
上に物を置いたりしないこと**

火災のおそれがあります。

塵やほこりの多い場所で充電したり、保管しないこと

火災のおそれがあります。

充電中はバッテリーやアダプタに皮膚が長時間触れないこと

低温やけどのおそれがあります。

バッテリーやアダプタは平らなところに置くこと

バッテリーやアダプタが落下し、ケガをするおそれがあります。

**バッテリーを交換する際は、本体メインスイッチを
必ずOFFにしてからバッテリーを取り外すこと**

火災のおそれや電池寿命が短くなる可能性があります。

**充電が完了したら、プラグをバッテリーから外すこと
(連続充電時間、6時間を超えないこと)**

差し込んだまま放置すると火災のおそれや電池寿命が短くなる可能性があります。

コードの抜き差しはプラグを持って行うこと

コードが傷つき、感電や火災のおそれがあります。

コードを持ってバッテリーやアダプタを持ち上げたり、ひっぱったりしないこと

コードが傷つき、感電や火災のおそれがあります。

コードやプラグをショートさせないこと

火災のおそれがあります。

バッテリー / 充電アダプタ / コード・プラグについて（つづき）

注 意

バッテリーやアダプタを落下させたり、衝撃を与えたりしないこと

バッテリーやアダプタが破損し、火災のおそれがあります。

コードを破損させないこと

感電や火災のおそれがあります。

プラグにゴミや土、油が付着しないようにすること

感電や火災のおそれがあります。

お手入れの際、ベンジン・シンナー・アルコール・みがき粉などは使用しないこと

部品が傷つき、火災のおそれがあります。

長時間使用しないときは必ず電源プラグをコンセントから抜いておくこと

感電や火災のおそれがあります。

一般のゴミと一緒に捨てないこと

火災や破裂によりケガをするおそれがあります。破棄する際は各自治体にご確認いただき、従ってください。

万一、バッテリーから液が漏れた場合は、以下の注意事項を守ること

- 皮膚や衣服につけないように注意する
- 目に入った場合は直ちにきれいな水で洗い流し、医師の治療を受ける
- 皮膚についた場合は直ちにきれいな水で洗い流し、医師の治療を受ける

バッテリーやアダプタが以下のときには、速やかに使用を中止し 購入の販売店に連絡すること

- 水没させたとき
- 内部に水や異物が入ったとき
- 落下させたとき
- 強い衝撃を受けたとき
- ケースが破損したとき
- 異音が発生したとき
- 発煙があったとき
- 異臭がしたとき

自転車を使用しない時はメインスイッチを必ず切ること

感電や火災のおそれがあります。

アシスト自転車について



「蹴り乗り」はしない 必ずサドルにまたがってから発進する

ペダルに力が加わると、電動補助力が働き、転倒や接触事故のおそれがあります。

操作スイッチを「ON」にしたまま駐車、停止、自転車の押し歩きをしない

足や荷物がペダルに触れると電動補助力が働き、転倒やケガのおそれがあります。

走行中に操作スイッチを操作しない 操作は停止してから行う

転倒や事故のおそれがあります。

アシスト自転車やアシストユニットを分解、改造しないこと

感電やケガをするおそれがあります。



深い水たまりなどを走行しないこと 台風や大雨のときも運転しないこと

大量の水がアシストユニットやバッテリーにかかったり、水没すると漏洩し、感電のおそれがあります。

走行中に異音が発生したり、異常だと思ったら 使用を中止して販売店で点検・整備すること

そのまま使用を続けると事故の原因となるおそれがあります。

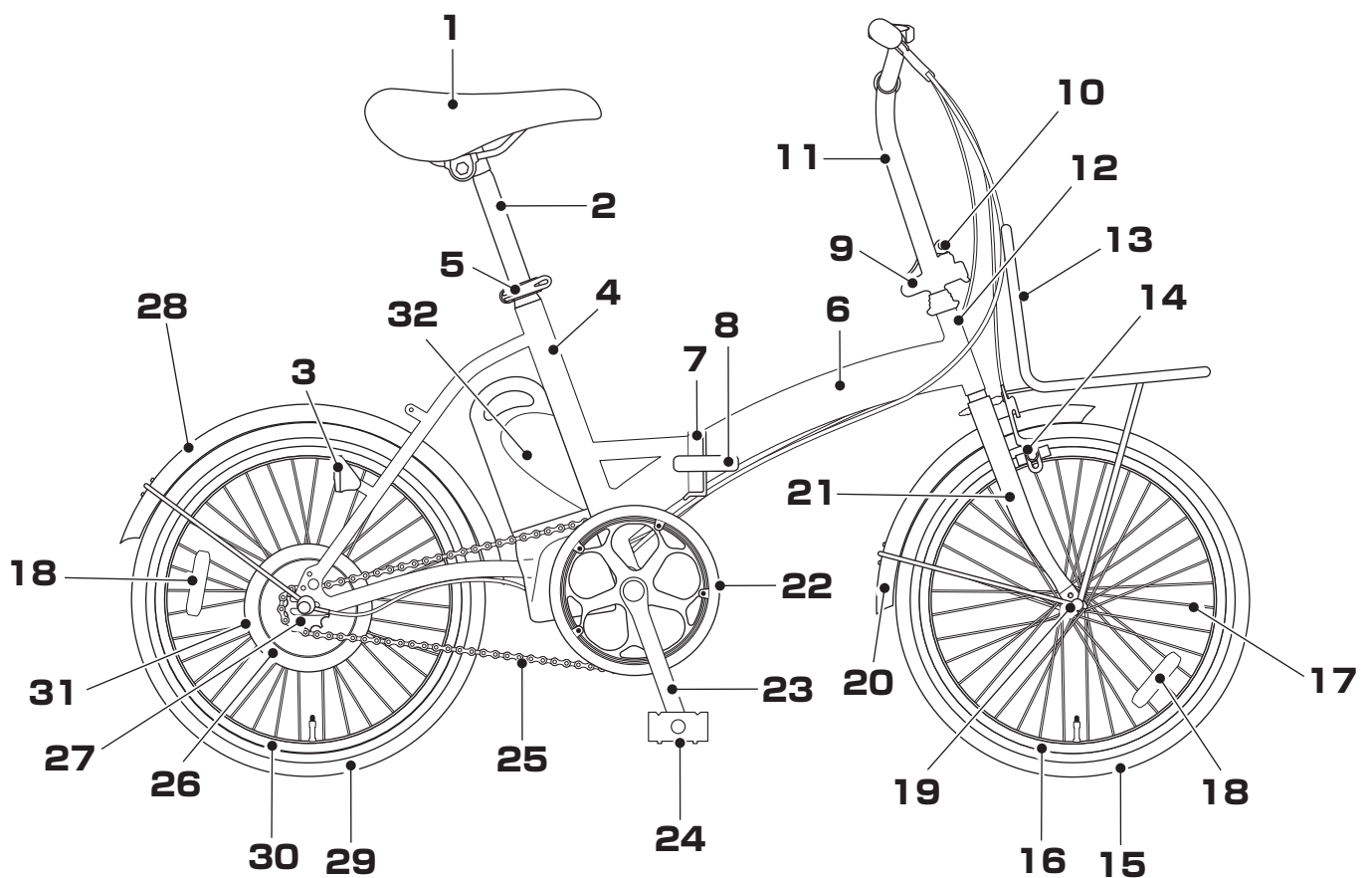
必ず平らな場所に駐輪すること

平らな場所に駐輪しないと、自転車が倒れてケガをするおそれがあります。

走行直後はアシストユニットにふれないこと

アシストユニットが高温になっていることがあり、やけどのおそれがあります。

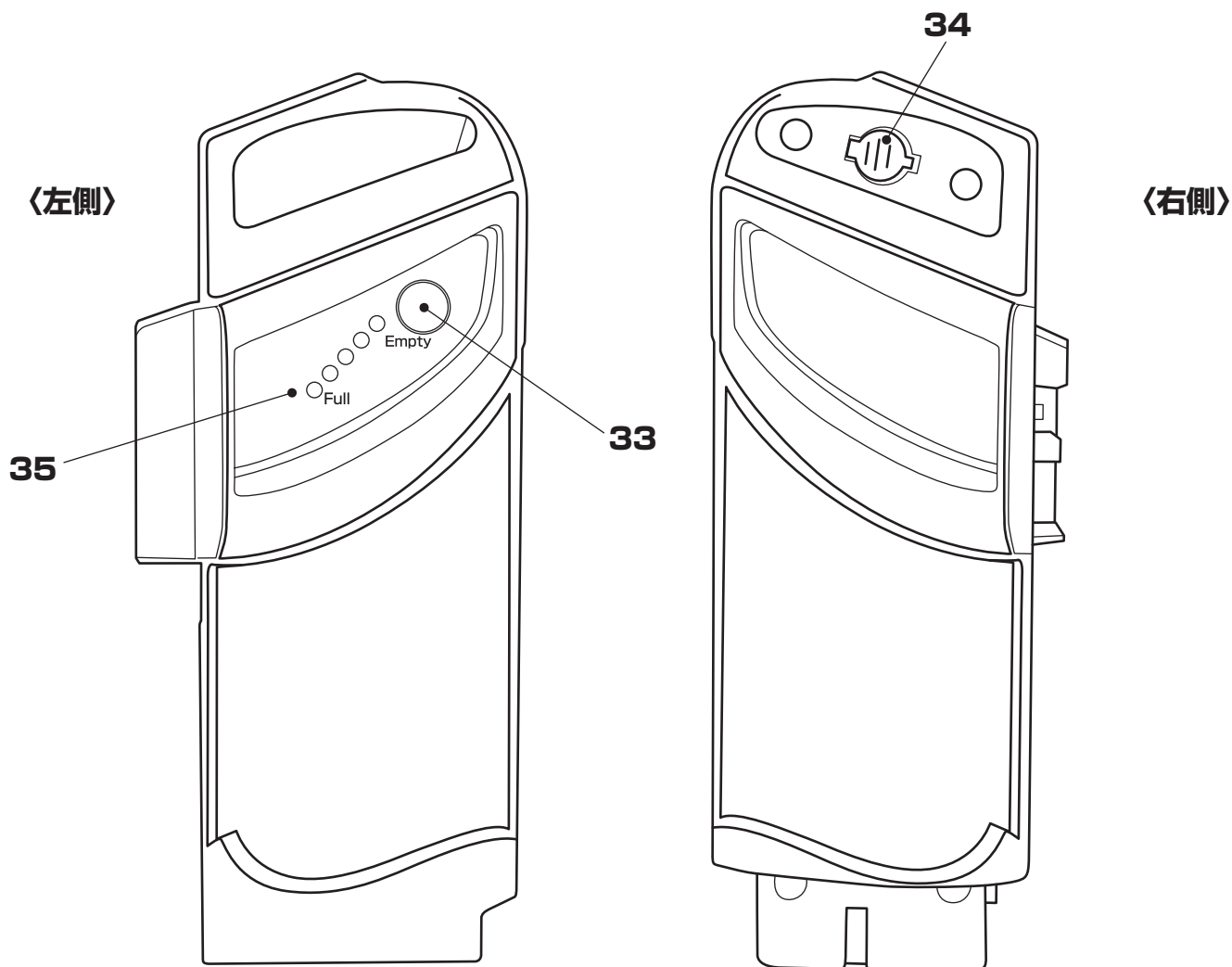
各部名称



- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1 : サドル | 16 : 前輪リム |
| 2 : シートポスト | 17 : スポーク |
| 3 : リアリフレクター | 18 : スポークリフレクター |
| 4 : シートチューブ | 19 : 前ハブ |
| 5 : シートピン | 20 : 前フェンダー |
| 6 : フレーム | 21 : フロントフォーク |
| 7 : フレームジョイント | 22 : フロントギア |
| 8 : フレームジョイント固定レバー | 23 : クランクアーム |
| 9 : ステムジョイント | 24 : ペダル |
| 10 : ステムジョイント固定レバー | 25 : チェーン |
| 11 : ステム | 26 : 後ハブ／電動ユニット |
| 12 : ヘッドチューブ | 27 : フリーホイール |
| 13 : フロントキャリア | 28 : 後フェンダー |
| 14 : フロントブレーキ | 29 : 後輪タイヤ |
| 15 : 前輪タイヤ | 30 : 後輪リム |
| | 31 : リアブレーキ（車体左側） |
| | 32 : バッテリー |

各部名称

【バッテリー部】



33 : 電源スイッチ

34 : 充電接続コネクター差込口

35 : バッテリー残量表示

満充電時には緑色のランプが全て点灯し、バッテリー残量が少なくなると点灯数が減っていきます。

(緑色のランプが1つになると充電の目安です。)

赤色のランプが点灯するとバッテリー残量が残りわずかです。直ちに充電を行ってください。

(赤色のランプのまま走行を続けると、バッテリーの劣化の原因になります。)

走行距離の目安

満充電後、バッテリーの残量がなくなるまでの走行距離の目安は約 40km です。

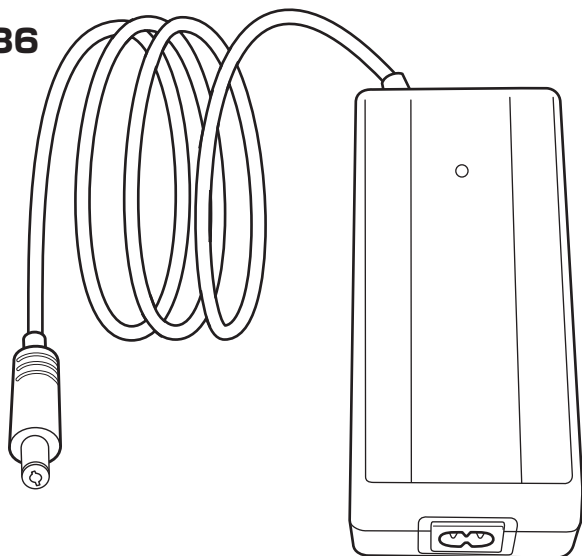
走行距離は新品バッテリー、気温 25℃、車載重量 60kg、乾燥路面、無風状態で走行した場合の当社のデータです。

- 冬場はバッテリーの特性上、走行距離が短くなります。
- 充電回数の増加に従い、1 充電あたりの走行距離は短くなります。
- 充電回数が少なくても、長時間の使用により 1 充電あたりの走行距離は新品のバッテリーに比べて半分程度になる場合があります。
- 走行距離は道路状況、気温、気象や走り方により異なります。
- ペダルを踏み込む力が強いほど、バッテリーは早く消耗します。

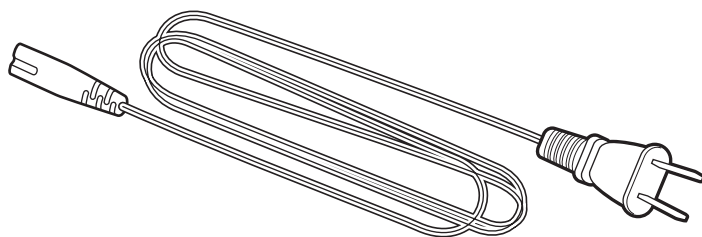
各部名称

【同梱 / 付属品】

36



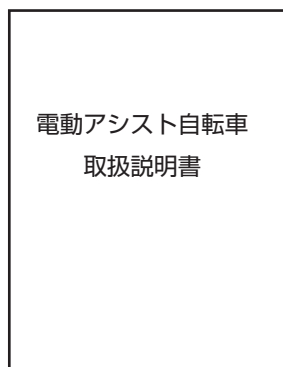
37



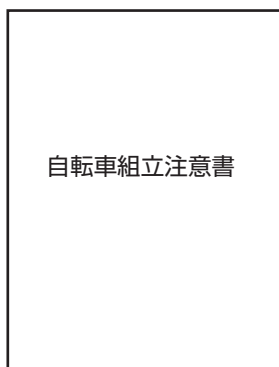
38



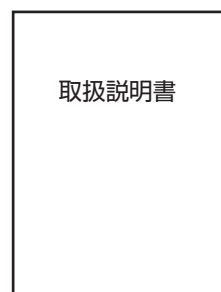
39



40



41



36 : 充電アダプター

37 : 電源コード

38 : バッテリーキー ×2

キー番号は取扱説明書の裏表紙に
必ず記載してください。

39 : 電動アシスト取扱説明書（本書）

40 : 組立注意書

41 : 取扱説明書 / 保証書

取り外し方法



①キーをバッテリーロックに差し込み、反時計方向に回してバッテリーロックを開錠します。



②バッテリーのグリップ部分を持ち、上部からゆっくり手前に倒します。



③バッテリーのグリップ部分をしっかり持ち、上側に引き出します。引き出した後、キーを忘れず取り外してください。

※引き出した際、バッテリーを落とさないよう、ご注意ください。

取り付け方法



④ガイド部に合わせながらバッテリーを差し込みます。バッテリーが「カチッ」と音がするまで車体側に押して固定します。

装着後、バッテリーを手前に引いて、装着されていることを確認してください。

※バッテリーキーを差したまま、乗車しないでください。

※バッテリーキーを差したまま、折りたたまないでください。



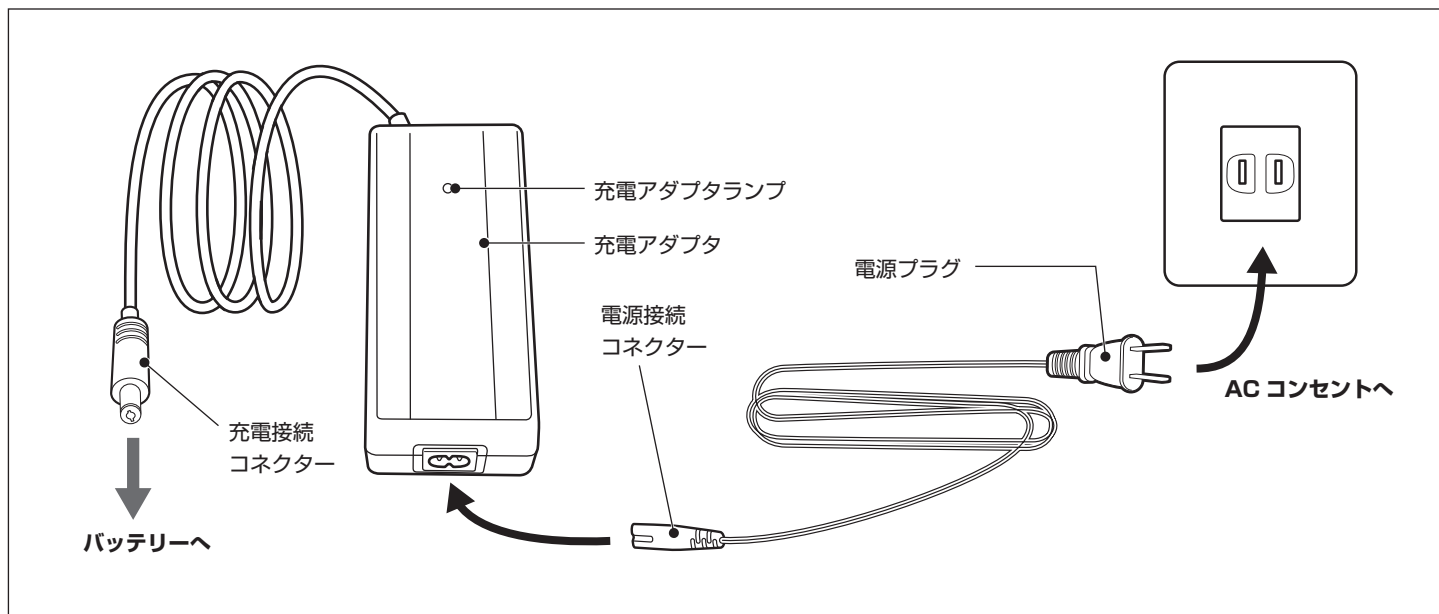
注意

- ・ 自転車から離れる場合は必ずバッテリーの盗難にご注意ください。
- ・ バッテリーを交換する際は、本体スイッチを必ず OFF にしてください。
- ・ バッテリーが確実に固定されていない場合、落下する恐れがあります。
- ・ バッテリーを取り付ける際、指などを挟まないようにしてください。

充電について

充電方法

1. 充電アダプタと電源コードの接続



2. バッテリーとの接続と充電



① バッテリーの「充電接続コネクター差込口」へ、充電アダプタの「充電接続コネクター」を差し込みます。



② 電源プラグを AC コンセントに差し込みます。

充電が始まると「充電アダプタランプ」が赤色に点灯します。充電が完了したら緑色の点灯にかわります。



注意

● 充電が完了したら、充電アダプタ/電源コードを外してください。

電源の入れ方 / 切り方

各部の名称については P.08 ～ P.10 の「各部名称」をご参照ください。

電源の入れ方



- ① バッテリー本体の赤い電源スイッチを押し、ON にします。

※スイッチを ON にすると残量表示ランプが点灯します。

電源の切り方



- ② バッテリー本体の赤い電源スイッチを押し、OFF にします。

※バッテリーは使用していないと、約 10 分で自動的に電源が OFF になります。

※スイッチを OFF にすると残量表示ランプが消灯します。



注 意

バッテリーを車体に装着後、メインスイッチを ON にしてください。
バッテリーを取り外す際は、取り外す前にメインスイッチを OFF にしてください。ショートや故障の原因になります。



電源プラグや充電プラグを濡れた手で抜き差ししないこと

感電するおそれがあります。

電源プラグや充電プラグは根元まで完全に差し込むこと

感電や火災のおそれがあります。

モーター、スイッチ、バッテリー、充電アダプタは乾いた布で、泥・土・埃・水濡れをふき取ってください。

自転車本体のお手入れ方法については同封の「取扱説明書 / 注油について・お手入れと保管・こんなときどうするか」を参照してください。

保管場所

電動アシスト自転車は次のような場所に保管してください。

また、保管の際はカバーをかけてください。

- 平らで安定しているところ
- 風通しが良く、湿気のないところ
- 雨つゆや直射日光の当たらないところ

長期保管をするときは

電動アシスト自転車を一ヶ月以上使用しないで保管するときは、次のことを行ってください。

- バッテリーを満充電にしてから保管する
- バッテリーを自転車本体から取り外して適した場所で保管する
- 保管に適した温度（-20 ～ 20℃を推奨）で保管する
- 3 ヶ月に 1 回は充電する

長期保管した後に使用するとき

長期保管した後に再び電動アシスト自転車を使用するときは、次のことを行ってください。

- バッテリー残量がない場合には、充電してから使用する
- 6 ヶ月を越えたら点検整備を受ける

点検・整備項目



以下の点検項目を参考にして、定期的に点検を行ってください。

自転車本体の点検項目については、同封の「取扱説明書 / 点検・調整チェックリスト」を参照してください。



異常を感じた場合は定期点検と関係なく、販売店で点検を受けてください。

点検項目		点検期間						
		1 回目	2 回目	3 回目	4 回目	5 回目	6 回目	7 回目
		2 ヶ月	6 ヶ月	1 年	1 年半	2 年	2 年半	3 年
1	アシスト機能は正常に作動するか 異音がしないか							
2	モーターからグリス漏れがないか							
3	電気配線の接続部にゆるみ 損傷がないか							
4	コードの断線がないか フレームへの取付は適切か							
5	バッテリーの取付け状態は確実か							
6	表示ランプは点灯するか							
7	バッテリーの消耗が早くなっていないか							

製品仕様

フレーム材質	スチールフレーム	バッテリー型式	充電式リチウムイオンバッテリー
サイズ	20 インチ	電圧	36V
折りたたみサイズ	840×490×710mm	容量	5.0Ah
重量	約19kg	バッテリー寿命	約 500 回
タイヤサイズ	20×1.75 英式バルブ	充電器型式	定常電圧定常電流方式
ブレーキ	前：キャリパーブレーキ / 後ろ：サーボブレーキ	電源	AC100 ～ 240V 50/60Hz
補助速度範囲	0 ～ 10km 比例補助 / 10 ～ 24km 遞減(ていげん)補助	消費電力	180Wh
モーター型式	直流ブラシレスモーター	充電器定格出力電圧	DC42V 2.0A
モーター定格出力	250W	充電時間	約 3 時間



夜間及びトンネル内など暗いところを走行するときは、必ずライトを点灯することが法律で定められています。

前照灯が装備されておりませんので、必ず市販のバッテリーライトなどをご購入ください。

こんなときは	ご確認ください	対処方法
電源が入らない	充電されていますか？	バッテリーを充電してください。 (P.12「充電について」参照)
電源は入るが、モーターが動かない(残量ランプは表示され、バッテリーの残量も十分であることが表示されている)	ブレーキをかけていませんか？	発進時はブレーキをかけないでください。ブレーキレバーがしっかりと戻っていることを確認してください。
バッテリーが満充電状態ではないのに充電ができない	バッテリーと充電アダプターが正しくセットされていますか？	バッテリーから充電接続コネクタを、充電アダプターから電源コードを一旦抜いて、もう一度各コネクタ / コードを接続しなおしてください。(P.12「充電について」参照)
走行距離が短い	充電されていますか？	バッテリーを充電してください。 (P.12「充電について」参照)
	バッテリーを長期間使用せずに放置していませんか？	充電が完了したバッテリーでも長期間使用しなかった場合には自然に放電してしまうため、残量がなくなっていることがあります。
	坂道の連続走行や、悪路などの過酷な走行をしませんでしたか？	道路条件や変速位置等により走行距離が短くなります。
	気温は低くないですか？	冬季や寒冷地においてはバッテリーが冷えているため、バッテリーの特性上、容量が低下したり、走行距離が短くなります。
	気温は高くないですか？	高温で放置した場合は、バッテリーの残量が減少することがあります。
	使い込んだバッテリーを使用していませんか？	バッテリーの寿命と思われます。新しいバッテリーをご購入頂き、交換してください。



お買い上げいただいた車両情報の記録 ※おぼえのためにご記入ください。

車体番号 :

キー番号 :

※キー番号はバッテリーキーの付属のプレートに
刻印されています。

お買い上げいただいた販売店

お問い合わせは下記カスタマーサービスまで

お問い合わせ窓口

support@gic-bike.com

受付時間:月～金曜日9:00～18:00(土日祝・盆休・年末年始を除く)

※お問い合わせは随時受け付けておりますが、ご返答は上記受付時間内となります。

ジック株式会社 〒559-0021 大阪市住之江区柴谷 1-1-40

TEL : 06-6686-6800 (代) 受付時間 AM10:00～PM6:00 土日祝 / 盆 / 年末年始を除く

ホームページ : <http://gic-bike.com/>